



平成30年度 埼玉県学力・学習状況調査グランドデザイン



調査の目的

本県の児童生徒が学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

背景1

学力向上の必要性

背景2

これまでの調査の課題

指導改善の方向

第2章 調査結果の概要

(P24~31)

第5章 学習指導のポイント

(P68~101)

学力調査の結果概要

6年間を通じた各教科におけるよさや課題

各学校における

- ・校内研修
- ・学力向上の取組

- 調査の実施**
- 調査日 平成30年4月12日(木)
 - 調査対象 小学校第4学年~中学校第3学年
 - 調査内容 小学校第4学年~第6学年:国語、算数、質問紙
中学校第1学年:国語、数学、質問紙
中学校第2・3学年:国語、数学、英語、質問紙
市町村教育委員会、各小・中学校:質問紙

質問紙調査の結果概要

6年間を通じて見えてきた子供たちの意欲や態度の変容

全ての学年・教科へ

活用の方向

第3章 調査結果の活用

(P34~45)

第6章 質問紙調査の分析

(P104~113)

新たに見えてくる児童生徒の姿

- 学力と学習方略の関係
- 学力と非認知能力の関係など

新たな授業改善の視点

- 主体的・対話的で深い学びの状況
- 効果的な取組の共有

学力

学力の伸び

調査結果の詳細な分析

県教育委員会、各市町村、各小・中学校

意欲・態度

学習方略

非認知能力

調査結果を活用し「さらに伸ばす」「課題を克服」
第4章 特徴的な学校の取組の紹介 (P48~63)

一人一人の学力を確実に伸ばす教育の推進

埼玉県学力・学習状況調査データ活用事業

学級経営

主体的・対話的で深い学び

学習方法や態度(学習方略)

学力(認知能力)

自己肯定感、勤勉性等(非認知能力)

主体的・対話的で深い学びの実施や学級経営が子供たちの学習方法・態度(学習方略)の改善や、自己肯定感や勤勉性等の向上を通じて学力向上させている。

各家庭との連携

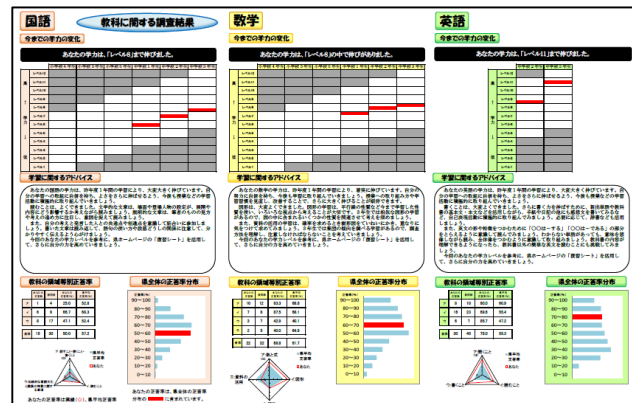
- 調査結果のアドバイス
- 家庭学習の支援
- 面談、学級懇談会、学校便り等における活用

委嘱校の実践事例を県内に普及

- 「チーム埼玉」学力向上パワーアップ事業
- 「未来を生き抜く人財育成」学力保障スクラム事業

個人結果票

- 児童生徒一人一人に対して
- ・教科に関する調査の結果
- ・質問紙調査の結果
- ・学習に関するアドバイス



コバトンのびのびシート

- 児童生徒を多面的に把握
- ・アクティブ・ラーニング
- ・学習方略
- ・非認知能力と「学力の伸び」の相関

